

『グランドピアノと縦型ピアノの差』

ピアノレッスンを受けている方で、自宅練習用にピアノ購入を検討中の方に、**後で知って後悔しないように、グランドピアノと縦型ピアノの違い**を解説します。と言われて、要はグランドピアノは縦型のピアノより音が良くてことだろ、と思われた方が多いと思います。実はその昔私もそう思っていました。音が少しくらい良かったって、子どもの練習用なのだから、縦型のピアノで充分だと。

でもね、大きな勘違いなのですよ、これが。私も実際にその違いを知ったときビックリしました。なんで同じピアノなのにこんなに違うのかって。外に出ている部分の鍵盤数もペダルの数も全く同じな訳ですから、**まさか機能に違いがあるなんて**……。ほとんど詐欺です。だからスペースや予算に余裕があるにもかかわらず、縦型を知らずに買ってしまって、**後でその違いを知ったら絶対後悔しますよ**。

ではその違いを分かり易く、なるべく専門用語を使わずに説明してみましょ。外見はグランドピアノは大きく、縦型ピアノはコンパクト。**演奏に使う鍵盤とペダルの数は全く一緒。でも中身が違う**。どれくらい違うのかとて言う、普通のテレビとハイビジョンテレビぐらいの差とか、軽自動車と高級車ぐらいの差はある感じです。

それで気になる機能の違いですけど、まず最初に**連続打鍵性能に大きく開き**があります。縦型は1秒間に約8回程度しか同じ音が出せません。これがグランドだと約15回です。縦型だと、**タタタ**って感じですが、グランドだと**トゥラララ**って感じ。16分音符がたたくさん出てきたり、トリルを多用するような速いテンポの曲を弾くときには、縦型だと音が抜けることがあるってことです。次に違う機能は、グランドは鍵盤をゆっくり弱く押さえていくと、最初はスーッと下がるのですが、一番下まで行く前にククってという抵抗感があるのです。それで少

し力を加えてやるとスコーンと抜ける感じで鍵盤が下まです。アフタータッチって言うのですが、縦型にはこれがありません。グランドだとアフタータッチの手前であれば鍵盤が少々下におりても、必ず音が出せます。ところが縦型では一番上まで鍵盤が上がっていないと、音が出ないことがあるんですよ。これでなにが違うかという、グランドピアノは小さい音が出しやすいのです。要はグランドには鍵盤を下げていく途中で、これ以上下げると音が出ないという目安を指先に伝えてくれる、**言わばセンサー機能がある**ってことです。

3番目の機能の違いはペダルです。グランドも縦型も右側のペダルは全く一緒。でも**左と中央のペダルは全然別物**なのです。グランドの左側のペダルは、シフトペダルと言って、踏むと鍵盤がガコって右にずれます。そして**出てくる音質が変化してやわらかくなる**のです。一方縦型はペダルを踏んでもなにが変わったのか全然分からない。実は私、子どものころ家にあった縦型ピアノの左側を踏んでも何も変わらないから、ずっと故障だと思っていました。本当はハンマーのストローク量が減って、同じ力で弾くと音が弱くなるのだけど、言われて試してみるまで、微妙すぎて全然分かりませんでした。グランドの中央ペダルはソステヌートペダルと言って、踏んだときに押さえていた鍵盤の音だけが、鍵盤から指を離しても音が止まらないという機能。一方縦型では、踏むとフェルトの布がハンマーと弦との間に挟まれて、モコモコした音になる弱音ペダル。騒音対策用のペダルで、あまりこの状態で練習しすぎるとタッチ感が狂ってしまうので要注意です。4番目の機能的な違いは、グランドはふたが開いて、構造的に**弦と響板が出す音が直接聞こえる**けれど、縦型は後ろの壁からの反射と、前板を透過してきた間接音しか聞こえないということです。

以上なるべく専門用語を使わずに、グランドピアノと縦型ピアノの違いを説明してみました。